

生涯健康支援看護学特講

Theory of throughout the life healthy support nursing

2 単位

川西 千恵美・教授/保健学専攻, 關戸 啓子・教授/保健学専攻, 多田 敏子・教授/保健学専攻

田村 綾子・教授/保健学専攻

【授業目的】生涯にわたる健康生活を支援するために必要な基盤となる理論や看護方略の開発や評価について探究する。

【授業概要】生涯にわたる健康生活を支援するために必要な基盤となる理論や看護技術の科学的根拠及び対象者の保健行動を支援するための学習支援方略の開発や評価, 支援する看護師の育成方法の開発や評価について探究する。さらに, 脳・神経系疾患や手術により健康を障害された人に対する回復支援方法及び地域における健康生活を支援するヘルスケアシステムの構築や実践の評価方法の開発・検証・実践の方法論を探究する。

【キーワード】看護学, 健康, 生活の質

【先行科目】『看護学研究方法論』(1.0)

【関連科目】『生涯健康支援看護学特別研究』(0.5), 『生涯健康支援看護学特講演習』(0.5), 『先端保健医療学』(0.5)

【履修上の注意】課題をもって参加すること

【到達目標】各自の研究課題に関連付けることができる

【授業計画】

1. 生涯にわたる健康生活を支援するために必要な基盤となる理論や看護技術の科学的根拠を教授する (川西)
2. 生涯にわたる健康生活を支援するために必要な基盤となる理論や看護技術の科学的根拠を教授する (川西)
3. 生涯にわたる健康生活を支援するために必要な基盤となる理論や看護技術の科学的根拠を教授する (川西)
4. 生涯にわたる健康生活を支援するために必要な基盤となる理論や看護技術の科学的根拠を教授する (川西)
5. 対象者の保健行動を支援するために基盤となる学習支援方略の開発や評価, 支援する看護師の育成方法の開発や評価について教授する (関戸)
6. 対象者の保健行動を支援するために基盤となる学習支援方略の開発や評価, 支援する看護師の育成方法の開発や評価について教授する (関戸)
7. 対象者の保健行動を支援するために基盤となる学習支援方略の開発や評価, 支援する看護師の育成方法の開発や評価について教授する (関戸)
8. 対象者の保健行動を支援するために基盤となる学習支援方略の開発や評価, 支援する看護師の育成方法の開発や評価について教授する (関戸)
9. 地域における健康生活を支援するためのヘルスケアモデルやケアの目標である QOL について教授する (多田)

10. 地域における健康生活を支援するためのヘルスケアモデルやケアの目標である QOL について教授する (多田)

11. 地域における健康生活を支援するためのヘルスケアモデルやケアの目標である QOL について教授する (多田)

12. 地域における健康生活を支援するためのヘルスケアモデルやケアの目標である QOL について教授する (多田)

13. 地域における健康生活を支援するためのヘルスケアモデルやケアの目標である QOL について教授する (多田)

14. 中途障害や手術に伴い回復支援が必要な脳・神経系疾患や手術患者の機能障害予防や回復支援方法の開発・検証・実践の方法論について教授する (田村)

15. 中途障害や手術に伴い回復支援が必要な脳・神経系疾患や手術患者の機能障害予防や回復支援方法の開発・検証・実践の方法論について教授する (田村)

16. 中途障害や手術に伴い回復支援が必要な脳・神経系疾患や手術患者の機能障害予防や回復支援方法の開発・検証・実践の方法論について教授する (田村)

【成績評価】レポートによる

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217037>

【連絡先】

⇒ 多田 (保健学科棟 3 階, 088-633-9033, tada@medsci.tokushima-u.ac.jp)

MAIL (オフィスアワー: 火曜日 16:00-18:00)

⇒ 川西 (保健学科 3 階, 088-633-9047, ckawa@medsci.tokushima-u.ac.jp)

MAIL

⇒ 關戸 (088-633-9035, sekido@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 毎週水曜日, 金曜日 18:00~ 19:00)